

都市伝説～無限に広がる変化～

安原健太

序

1. 都市伝説とは
2. 時代による変化
3. 恐怖を煽る変化
4. 想像による変化

結

序

都市伝説をテーマにした動機は以下のようなものであった。両親に聞かされた都市伝説と友人に聞かされた都市伝説が似ているようで似ていない事に興味を持った。時代毎に噂され伝搬されてきた都市伝説。都市伝説は今でも形を変えて現代にも広く伝わってきている。では、その「変化」とはどのようなものなのか。有名な都市伝説を例に挙げ考察しようと思う。

1. 都市伝説とは

近代あるいは現代に広がったとみられる口承の一種である。

都市伝説には様々な定義があるが、今回のテーマでは『友達の友達』など身近なようで実際には顔も名前も解らない人々に起きた出来事として語られ、話の原型を確認できない伝説とここでは定義しておく。

都市伝説の伝搬手段としては、噂話、テレビ、ラジオ、インターネット等がある。そして、伝搬されて生まれた都市伝説には以下の

ものがあげられる。1979 年、ラジオから伝搬された「口裂け女」¹がある。これは当時、全国の小・中学生に非常な恐怖を与え、パトカーの出動騒ぎ（福島県郡山市・神奈川県平塚市）や、北海道釧路市・埼玉県新座市で集団下校が行われるなど、市民社会を巻き込んだパニック状態にまで発展する社会問題となった。

他には、1973 年のコンロッカーベイビー²等がある。これは捨て子・死体遺棄事件がメディアに取り上げられ伝搬されたと考えられる。

2. 時代による変化

小・中校生なら一度聞いたことがあるかもしれないのが「不幸の手紙」³である。これは自分の机、もしくは靴箱に宛先の分からない手紙があり、その内容は、「この手紙と同じ文章で、あなたの友人〇人（人数は不定）に出さないと不幸になります」というものである。そして、これが 2000 年頃に携帯電話が流行り、「チェーンメール」として変化し広まったのである。「不幸の手紙」と比べて内容は同じだが、手紙を書く作業がいらぬ為、連鎖（チェーン）がしやすいので「不幸の手紙」より長く続く。

3. 恐怖を煽る変化

都市伝説は恐怖を煽る為に様々な変化をする。これを考察する為に「赤い紙・青い紙」を例に挙げようと思う。この「赤い紙・青い

¹ ちから「口裂け女」『都市伝説リサーチ』<<http://chikaraul.2.tool.ms/8/>> 2015 年 1 月 4 日最終アクセス。以下に同じ。

² メリケンオタマ「コインロッカーベイビー」『うまい棒ばか一代』<<http://umaibo.net/ul/basic/seiji/coin.html>>。

³ 神室ちひろ「不幸の手紙」<<http://ncode.syosetu.com/n8587br/>>。

紙」⁴という話は、トイレに入ると「赤い紙・青い紙やろうか？」と聞かれ、赤い紙を答えると、トイレから手が出てきて身体中から血を噴き出して死亡する。青い紙を答えると、同じようにトイレから手が出てきて血を抜かれ真っ青になり死亡する。何を選択しても死亡してしまうという理不尽な都市伝説である。これは話をより一層怖くさせようと変遷していった結果だろうと考えられる。要するに、元は赤がアウト、青はセーフといった二者択一の話だったのだと言える。

また、地方によっても話の内容が変化するパターンがある。例えば、大阪府大阪市の小学校では「赤い紙・白い紙」のパターンで、山形県の学校では「赤い紙・青い紙」以外に「黄色い紙」があると言われている。やはりこれらも恐怖を煽る上での変化であると思われる。

そして、冒頭に「赤い紙・青い紙」を説明した時に「トイレから手が出てきて」という描写があるが、これは恐らく廁神⁵のことだろう。中国の廁神は白い杖を持ち、青い服を着ていて、名前を知って呼ぶ者を許すが、知らずに呼んだ者は死ぬと言われている。これを「赤い紙・青い紙」と結びつけてみると、「知らずに呼んだ者は死ぬ、名前を知って呼ぶ者を許す」と「赤い紙を答えるとアウト、青い紙を答えるとセーフ」は類似している。そして、廁神の白い杖、青い服は赤い紙、青い紙と考えていいだろう。白が赤に変わったのは、「赤」だと「血」というイメージがあるので恐怖を煽る為だろう。

だがここで疑問が生じる。怪異の表現としては廁神を結び付けたのはいいが、いつから「紙」を主題にした都市伝説になったのだろうか。しかも「赤」と「青」の紙である。恐怖を演出する紙は何をモチーフにしたのだろうか。

推測だが、日本がまだ戦争中の頃、召集令状というものがあつた。

⁴ 「赤い紙・青い紙」『都市伝説の集まる場所』

<<http://toshidensetsublog.seesaa.net/article/92023269.html>>。

⁵ 「廁神」とは日本や中国の旧式のトイレに潜む精霊の一種である。

召集令状には赤紙と青紙の種類があり、赤紙は充員召集、臨時召集、帰休召集、国民兵召集、補欠召集で青紙は防衛召集である。それを当時の子供たちは赤紙は国の為に闘う「攻め」と捉え、青紙は国を守るもの「守り」と捉えていたと思われる。そして当時の子供たちによって「紙」を主題とする都市伝説が生まれたのであろう。

しかし、いつ廁神と赤紙・青紙を結び付けた都市伝説が生まれたか分からない。もしかしたら別の何かがモチーフにされたかもしれない。

4. 想像による変化

「赤いちゃんちゃんこ」⁶という都市伝説をご存じだろうか？ これは「赤い紙・青い紙」の類話である。この話はトイレに入ると「赤いちゃんちゃんこ着せたらか？」と聞こえて、「着る」と答えると首を切られ、叫び声を聞いた人がトイレに入ったら血だらけの人がいてまるで赤いちゃんちゃんこを着ているように見えるという。

「赤い紙・青い紙」と同じパターンの都市伝説であるがなぜ「ちゃんちゃんこ」なのだろうか。それはあえて古典的な言葉を使うことで前時代なものだからこそ何らかの因縁や物語を受け手のほうで勝手に想像させ、想像することで恐怖を演出させる為であろう。まさに「秘すれば花なり、秘せずば花なるべからず」⁷である。

この「赤いちゃんちゃんこ」も「赤い紙・青い紙」のように話が伝搬する途中には、怪異の正体や「死」を迎える過程が語られていて話の原型が存在していたのかもしれない。逆に原型が存在しない都市伝説もあるかもしれない。だがそれらは我々がその原型を確認

⁶ 「赤いちゃんちゃんこ」については前掲・「赤い紙・青い紙」参照。

⁷ 「秘すれば花なり、秘せずば花なるべからず」とは秘めるからこそ花になる。秘めねば花の価値は失せてしまう、という意味。敷衍すると、すべてを見せずに、ほんの少しのことを象徴的に表現することによって、観客の想像の翼を活用することによって、表現に膨らみを持たせようとする一種の術である。

することはできない。なぜなら我々はそれらの都市伝説を語った本人ではないのである。そして我々は何が原型か、何がモチーフかを想像してしまう。このように分からないからこそ、想像してしまう。想像することによって新しい都市伝説が生まれていく。都市伝説は想像によって様々な変化を遂げる。都市伝説の面白いところかもしれない。

結

都市伝説は時代毎で更に進化していくものである。そして受け手側の想像でパターンが無限に広がっていくものでこれから先も様々な形として語り継がれていくだろう。